

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2023年10月15日 No.461 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

国民にも隠され、アメリカ本土全体をも汚染した核実験 乳歯で被ばくを立証した母親たちの運動を掘り起こした 放射線を浴びたX年後Ⅲ「サイレント・フォールアウト」 2023年乙訓平和のつどい開く

10月1日、2023年乙訓平和のつどいが大山崎町ふるさとセンターで開かれ、48人の参加がありました。毎年、平和行進を軸に取り組む乙訓の平和運動のまとめの場として、開かれています。第22回目の今回は、原水禁世界大会参加者報告と映画を上映しました。

4年ぶりの現地集会を3人が原水禁世界大会報告

京建労乙訓支部から親子で参加した山田恭子さんと千紘さん。初めて参加した千紘さんは、小学6年生の眼でしっかりと見た大会の様子を、おとなの話がむつかしくとても退屈だった、振袖の少女像の前で高校生のお姉さんたちから歌と振り付けを教してもらったと感想も交えて報告しました。母親の恭子さんは、平和に対する気持ちを将来に引き継いで欲しいと、子どもを連れて15年ぶりに参加しました。

長崎大会では、ウクライナ戦争は単にロシアとプーチンの側の問題では片付かない、NATOが拡大してきたことの問題



報告を聴く参加者

もあることなど学んだと報告しました。

乙訓原水協が費用支援をして、船で行く青年ツアー団に長岡京市在住の寺平宣行さんが参加。台風で日程が短縮される中で、海外代表がそれぞれの国や地域での活動について語る報告を聞き、連帯感を深めたこと、そして具体的に、行動することが大切だと思ったと報告しました。

第2部は市民が資金寄せて完成した映画上映

京都での上映は2番目となる「放射線を浴びたX年後Ⅲ サイレント・フォールアウト」を観ました。アメリカは日本の広島と長崎に原爆を投下しました。この原爆開発では、アメリカのネバダ砂漠で長崎に投下したプルトニウム型原爆の実験をしました。原爆の開発製造そのものが国家機密で、国民にも国会にも秘密にし、実験地ネバダ砂漠周辺の住民はなにも知らされることなく、原爆が放出した放射性物質による被ばくをしました。戦後にアメリカは核実験をネバダ砂漠で、さらには太平洋のマーシャル諸島を中心に、大規模な核実験を続けました。

ネバダ砂漠での実験は秘密にされていましたが、4000kmも離れた東部にあったコダック社でフィルムが感光したことから、核実験が判明します。

(2ページにつづく)

核実験は、アメリカ本土のほとんど全体を汚染しました。市民が被ばくの実態を自分たちの手で調べようと活動を始めます。全米の母親たちに呼びかけて、子どもの生え変わる乳歯を集めて、放射能に汚染されている事を証明します。

米国国内での上映会実現の支援を呼びかける

この映画は、放射線を浴びたX年後シリーズの第3作目です。伊東英朗監督が次のメッセージを寄せています。

「太平洋核実験による被曝事件の取材を始めたのは、2004年。アメリカ原子力委員会の機密文書や日本政府の文書などを入手し、日本列島の放射能汚染、アメリカ愛陸の放射能汚染を知りました。自分を含め、多くの人知らない現実に打ちのめされると共に、次々と亡くなっていく証言者を目の当たりにし、以降、「いま、伝えなくては」と、証言と資料に突き動かされるように、独自調査を続けてきました。その間、日本では2011年、東日本大震災によって福島第一原発で事故が起こり、東日本一帯が強い放射能汚染に見舞われました。そして10年経ち、世界を揺るがした大きな事故は風化しつつあります。また、アメリカ国内で「放射線を浴びたX年後」「放射線を浴びたX年後II」を上映した際、核兵器の開発過程でアメリカ大陸全体が汚染していることを、アメリカの人たちがまったく知らないことに驚きました。伝えなければいけない。深まる使命感を胸に、核実験に関わり被曝した元軍人を取材するため、2020年、イギリスを訪ねました。取材を重ねると、20歳前後の若者だった彼らの多くが亡くなっていた事実を知りました。

さらに2022年6月から8月、大陸汚染したアメリカを取材。60年前、核実験によるアメリカ大陸の放射能汚染を実証しようとしたのは、女性たちです。子どもの命を守りたい彼女たちの思いと行動が、ケネディ大統領を動かしました。この映画が日本の未来を考える上でひとつの気づきになることを、そしてアメリカの人たちが事実を知るきっかけになることを、願っています。」

伊東監督は、アメリカ国内で上映するため支援募金を呼びかけています。そのため、完成したこの映画は劇場での上映はせず、支援寄付金を募ることを条件に全国での自主上映に無料で提供しています。多くの所で上映会を開いて下さい。

乙訓平和のつどいでも参加者に支援を呼びかけ、計25000円が寄せられました。

映画を見た感想の一部を紹介します。

「アメリカの行った原水爆実験の被害の実態は膨大なものだったと感じていましたが、乳歯の測定にかかわる大きな努力により、それがはっきりしました。ガン の出現の大きくなっている事。放射性降下物の測定から、証拠になるものと感じます。福島に汚染水を放出しているこの状況の中で、大変よい取組みをしてくださってありがとうございました。」

「アメリカ全土でこんな事があった事、また60年たった今も続いている事、知る事、伝える事の大事さを感じた。今日は来て良かったと思いました。観るまではおつかしく、深刻でしんどい映画と思っていたら、見入ってしまい、わかりやすかったです。」

(文責：米重節男)

「米軍基地いらんちゃ FESTA2023」

日時 11月12日(日)13:30~16:30/開催場所 京都府丹後文化会館

(京丹后市峰山町杉谷1030番地 ☎0772-62-5200) 最寄り駅：北近畿丹後鉄道峰山駅
京都府全域から連帯して現地で参加しましょう。デモ行進が実施されます。出来るかぎり現地参加を。
YouTube 配信もあります。